



彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク
あったかウェルねっとニュース 第25号

2017年3月23日発行

ホームページアドレス <http://www.geocities.jp/attaka17/>

2011年3月11日の東日本大震災より6年が経ちました。失われた多くの尊い命のご冥福を祈り続けるとともに、一日も早い被災地の復興・復旧を願い、被災された皆様の安心安全を心よりお祈り申し上げます。

あったかウェルねっとの「ウェル(WELL)」は、Welfare(福祉)、Well-Being(幸福)のWell(大切にという意味)で、「温かな心で一人ひとりを大切に思うつながり」でありたい、との願いが込められています。

あいさつ

“福祉教育推進者”の出番は今！
 ～推進力を実践力へ～

あったかウェルねっと代表 横田八枝子
 (坂戸市)

前号あいさつ「地域包括ケアシステムと福祉教育」の中でも、日本社会が抱える超超少子高齢社会到来に向けて、「福祉教育・ボランティア学習」を推進する意義と役割が大きいことを聞いていただきました。また、「誰もが普通の暮らしの幸せ」を享受するために、今から「実践力」を培っていく必要性をお伝えしましたが、10年後、50年後を生きる次世代も「幸せに暮らせる」地域を願います。

昨年8月からは、「若者への福祉教育研究会」と連携し、次世代に「地域の福祉教育実践」をつなげて行けるよう、専門家との研究も始まっています。

そして、地域で求められる実践力につなげて行くために、県域での福祉教育・ボランティア学習推進者らが連携できるよう、あったかウェルねっとの規約を改正して、会員“福祉教育・ボランティア学習推進者”の枠を広げて行く時期になりました。

そのためにも、県社協・市町村社協や専門家の先生方からもご理解ご支援をいただき、地域で「共に生きる力」を育む「福祉教育実践」を創造できるよ

う、地域の皆様に発信していきたいと存じます。皆様のご理解とご支援をよろしくお願い致します。

お知らせ

総会 及び 研修会 を開催します！

平成29年度 総会

開催日：平成 29年5月13日(土)受付：9時15分から
 開始：9時30分 議事終了：10時30分(予定)

会場：彩の国すこやかプラザ2階セミナーホール
 (JR 京浜東北線与野駅 西口 徒歩 10 分)

対象者：正会員・賛助会員および会員を希望する方
 年会費：正会員 1,000円

賛助会員 1口：500円

平成29年度 研修会

事前の申込み
 をお願いします

～一人一人の実践が活きる！これからの福祉教育～

日時：平成29年5月13日(土)

時間：11時15分～15時45分(受付11時～)

会場：彩の国すこやかプラザ2階セミナーホール

講師：河村美穂氏(埼玉大学教授)

対象：福祉教育を実践している人・関心がある人

参加費：一般 1000円(昼食代を含む)

学生 500円()

会員・賛助会員は500円(昼食代として)

※軽食を用意します。

内容

① ワークショップ

「伝えたい！プログラムを作ってみよう」
 (各自が取組みたいこと、又は、取組んでいる福祉課題の写真1、2枚をご持参ください。)

※ 講師に河村美穂先生をお願いしています。

② 交流タイム (昼食時間を含む)

③ 講演 (ワークショップの振り返りを含む)

「身近な福祉課題を“福祉教育実践”に繋げる！」
 講師：河村美穂氏 (埼玉大学教授)

④ 情報交換「今後に向けて」

研修会は、どなたでも参加できます。

お誘い合わせのうえ奮ってご参加ください。

申込先：ねっと事務局 須田 049-283-1865 (FAX)
 メールアドレス masako@niconico39.net

5グループに分かれた参加者は、5カ所のブースを巡り、ゲストスピーカーと直接対話しながら、生の声を伺いました。その後、グループワークで意見交換、そして、全体での振り返りをしました。

ゲストスピーカーとテーマ

～普段の暮らし「ワタシの場合」～

- ① 仕事も福祉教育も、車イスとともに
中島 満氏 (東松山市/車イスユーザー)
- ② 見た目で見えない障害・発達凸凹って？
櫻井栄里氏 (東松山市/発達障害)
- ③ 白杖で町に出る。暮らしの工夫もいろいろ！
今井光子氏 (熊谷市/視覚障害)
- ④ 見えなくてもおしゃれを楽しみ盲導犬と町へ！
吉田より子氏&ラッキー (嵐山町/視覚障害・盲導犬ユーザー)
- ⑤ 聖学院大学復興支援チーム【SAVE】&学園祭実行委員会

参加者の小論文 (ふり返しシート) より抜粋

- ・アクティブ、前向き、力強さを感じた。
- ・横のつながり、ネットワークが大切。
- ・行動力にあふれている、元気づけてくれた。
- ・主体的にかかわること。生活や工夫をしている。
- ・交流は知ることから。声をかける勇気が大切。
- ・共に生きる、他人に関心を持つ。
- ・もっといろいろ聞いてみたい。

《ゲストスピーカーより》
 短時間で伝えきれなかった事もあるが、思いを伝えた。一緒に歩いて行きましょう。



冬カフェの報告

若い力！学生スタッフが活躍！
誰でもカフェ in 大学
あったか福祉交流サロン
～ふだんの暮らしのしあわせを考えよう～

2月28日(火)、聖学院大学(上尾市)の協力のもと、まなびばしゃべりばカフェ第11回目を行いました。様々な立場、幅広い年齢層の参加者35名が一堂に会し、学び合いました。

この冬カフェは、去る5月8日のあったか福祉交流セミナー2016「18歳とふくし」後半のワークショップ「若者達への福祉教育実践を企画しよう」で、出たアイデア「大学で誰でもサロンをやりたい」を元に企画され、実現の運びとなったものです。聖学院大学ボランティアセンターの協力と支援をいただきながら、学生スタッフとともに準備を重ねて、当日を迎えました。

他大学からの応援参加もあり、学生さんたちはファシリテーターとしても大活躍。また、会員以外にも一般からの申し込みも多く、高齢者・保護者・社協職員など多彩な顔ぶれで、初参加の方も。

報告

With you さいたまフェスティバル

**With you さいたまフェスティバルに参加
 展示ブースで交流しました。**

埼玉県男女共同参画推進センター(愛称: With You さいたま)主催の「第15回 With You さいた

まフェスティバル」が2月3～5日の三日間行なわれ、今年度も展示ブースで参加しました。

県内で男女共同参画の視点で様々な活動をしている51団体による舞台発表、ワークショップ、展示発表等があり、三々五々やってくる参加者や他団体と交流をしました。あったかウェルねっとブースには、福祉教育やボランティアなどに関心のある方が立ち寄り、情報交換をしました。新たな出会いもあり、県内のいろいろな地域で出会いの場を作っていく必要性を感じました。

ご協力いただいた会員のみなさま、ありがとうございました。



展示テーマは「ふくしの種まき」。この日は盲導犬ユーザーがブース担当となり、参加者と交流しました。

若福研究会コーナー

昨年8月に設立した「若者への福祉教育研究会」では、6つのプロジェクト（高校、大学、地域あったかウェルねっと、地域ワークキャンプ、精神保健、権利擁護）が、共通プログラムシートを活用しての「見える化」、さらにブラッシュアップのための展開をしています。

大学実践プロジェクトの中間報告会に続けて、ワークキャンププロジェクトの中間報告会がありました。

報告

☆第3回研究会

【地域実践・ワークキャンプ実践プログラム】

報告会：「社協事業の事例より見える化」

2月26日（日）、ウエスタ川越にて「社協事業の事例より見える化」として、ワークキャンプ事業を実践されている県内3市社協の職員より「実践プログラムと参加者の学び」について報告が行われました。参加者は（学生10名を含め）32名。

報告会では、アドバイザーの佐藤 陽氏（十文字学園女子大学教授）よりワークキャンプの意義や

そこに関わる援助者の役割等の丁寧な説明の後、①川崎市社協：小川氏 ②日高市社協：小坂氏 ③吉川市社協：浦東氏より、「福祉体験を通して学習者自ら学ぶ」を目的とした、それぞれ特色あるワークキャンプ実践プログラムの報告がされました。

今回は、実践者からの報告のほか、実際にそのプログラムを体験した学生から、体験前と後の「考え」や「心」の変化について直接お話しを聞くことができました。そして、その話からは『地域』という言葉も多く聞かれ、プログラムを通じて正に「ともに生きる力」「これからの地域力」へと繋がっていく様子が感じられる報告会でした。



ワークキャンプ体験者一人一人の声が貴重でした！

お知らせ

☆第4回研究会開催

【地域実践・あったかウェルねっと実践プログラム】報告会

日時：4月9日（日）14時00分～16時30分

場所：東松山市市民福祉センター

（東松山駅 東口下車 徒歩約15分）

アドバイザー：原田正樹氏（日本福祉大学教授）

報告者：

中島 満氏「車イスユーザーの普段の生活と共生について」

櫻井栄里氏「発達障害の正しい理解のために願う事」

初雁健司氏「高齢社会を生きる」

※終了後、懇親会を予定しています。詳細は申し込みの際にお問い合わせください。

お知らせ

☆第5回研究会開催

【地域実践・精神保健実践プログラム（中間報告）】

日時：6月25日（日）14時00分～16時30分

場所：坂戸駅前集会施設2階集会室

（坂戸駅 北口下車 徒歩約4分）

テーマ：「精神障害者フットサルにおける福祉教育」
共同研究者
松本すみ子氏（東京国際大学教授&若福研アドバイザー）
岡田隆志氏（埼玉県春日部保健所&精神保健福祉士）

それぞれの申し込み先

あったかウエルねっと事務局（須田正子）
FAX 049-283-1865 メール masako@niconico39.net

県社協からの情報

今年度、県社協では福祉教育の取り組みとして主に下記の事業を実施し、皆様に地域活動の取り組みへの理解を図りました。

- 生活支援サポーター養成事業
隣近所の“さりげない気遣い”“ちょっとした目配り”など地域に関心を向けていただく応募者を3,048名（3.22時点）養成しました。
- 共生・共助つながりづくりシンポジウム
共生社会の実現に向けて立教大学の森本佳樹名誉教授の講演、実践活動者の実践報告を行いました。
- ふれあい・いきいきサロン全国研究交流会
全社協との共催で全国のサロン活動者が集い、交流を深めました。
- 福祉教育推進者研修
常磐大学の池田幸也教授の講義や実践発表により様々な福祉教育の取り組みを学びました。

その他にも小中学生作文コンクールやボランティア活動に関心のある高校生対象のヤングボランティア交流会などを実施しました。

県社協では平成29年度も地域共生社会の推進に向けた取り組みを実施していく予定です。推進員の皆様にも学校や地域における福祉教育の推進にご支援、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

★県社協 Facebook 「シャキたまくん通信」
<https://www.facebook.com/fukushisaitama.syakitamakun>

事務局情報

若者への福祉教育研究会の情報も

平成28年度発足した若者への福祉教育研究会と協働

しながら「若者への福祉」を研究しています。3ページ「若福研コーナー」でもお伝えしていますが、詳細はホームページをご覧ください。

- ・若者への福祉教育研究会HP
<http://wakafukuken.wixsite.com/saitama>
- ・フェイスブックのグループページ
<https://www.facebook.com/wakafukuken>

報告会や研究会が順次行なわれます。関心のある方ならどなたでも。参加申込みをお待ちしています。

メーリングリストで情報を

「あったかウエルねっとML」「若者への福祉教育研究会ML」と、二つのメーリングリストが動いています。会員・賛助会員の方でメールアドレス（携帯も可）をお持ちの場合、メーリングリストの登録ができます。希望する方は事務局までお知らせください。

ねっと事務局 須田 049-283-1865 (FAX)
メールアドレス:masako@niconico39.net

会費振込先のお知らせ

活動は、ねっと会費（年1000円）で運営しています。みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

振込先：埼玉りそな銀行武蔵浦和支店・
普通預金口座番号：5015782

名義：彩の国福祉教育ボランティア学習推進員ネットワーク

編集後記

若者への福祉教育研究会の設立にも関わり、忙しかった平成28年度でしたが、そのおかげで大学のボランティアセンター等を通じ、学生さんとの接点が増えました。心配りができ、現在の課題にも目を向けながら学業に励む姿に感動することしきり！

やがて社会に出て行く若い世代との出会いを大切に、地域の私たちも出来る事を誠実に積み重ねていきたいものです。

発行：彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員
ネットワーク（通称：あったかウエルねっと）
編集：あったかウエルねっと（情報担当）
連絡先：埼玉県社会福祉協議会地域活動支援課
TEL：048-822-1435
FAX：048-822-3078
Mail：vc@fukushi-saitama.or.jp